

お年寄りの人たちが、
みんな仲良くお互いに支
え合って暮らす島。



生活の一部の毎日入る
お風呂を、島民達が
コミュニケーションを
楽しむ場所に。



島民一人一人に一つの
ロッカーを作り、毎日飲
む薬やお気に入りの食器
などを入れておく。この
ロッカーがあるからみな
な自分の家みたいな気持
ちになる。みんなをつ
ながぐ大切なインテリア。

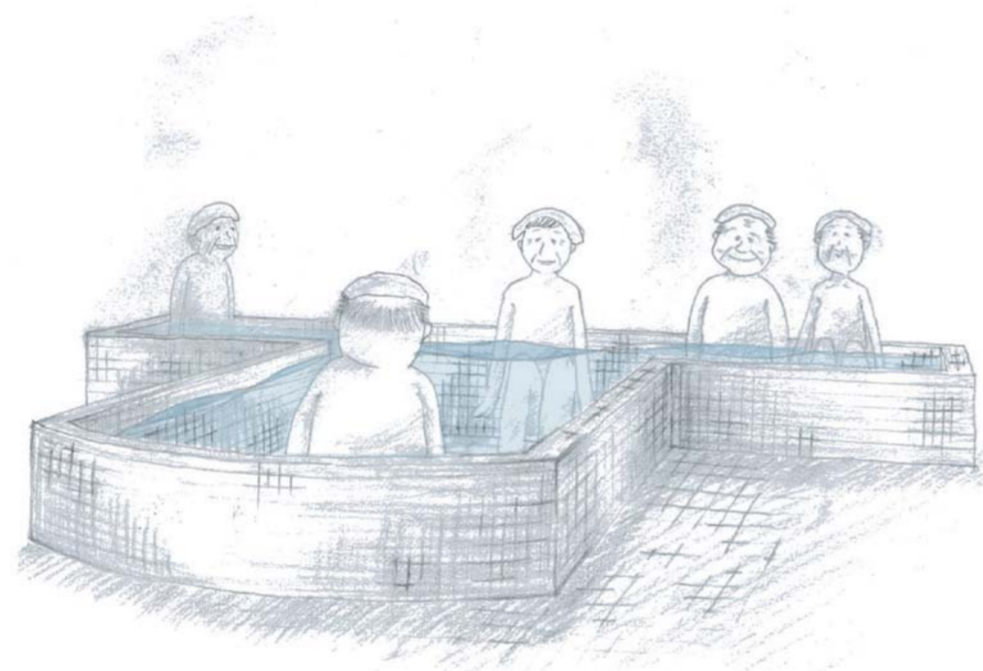


クライアント紹介・要望

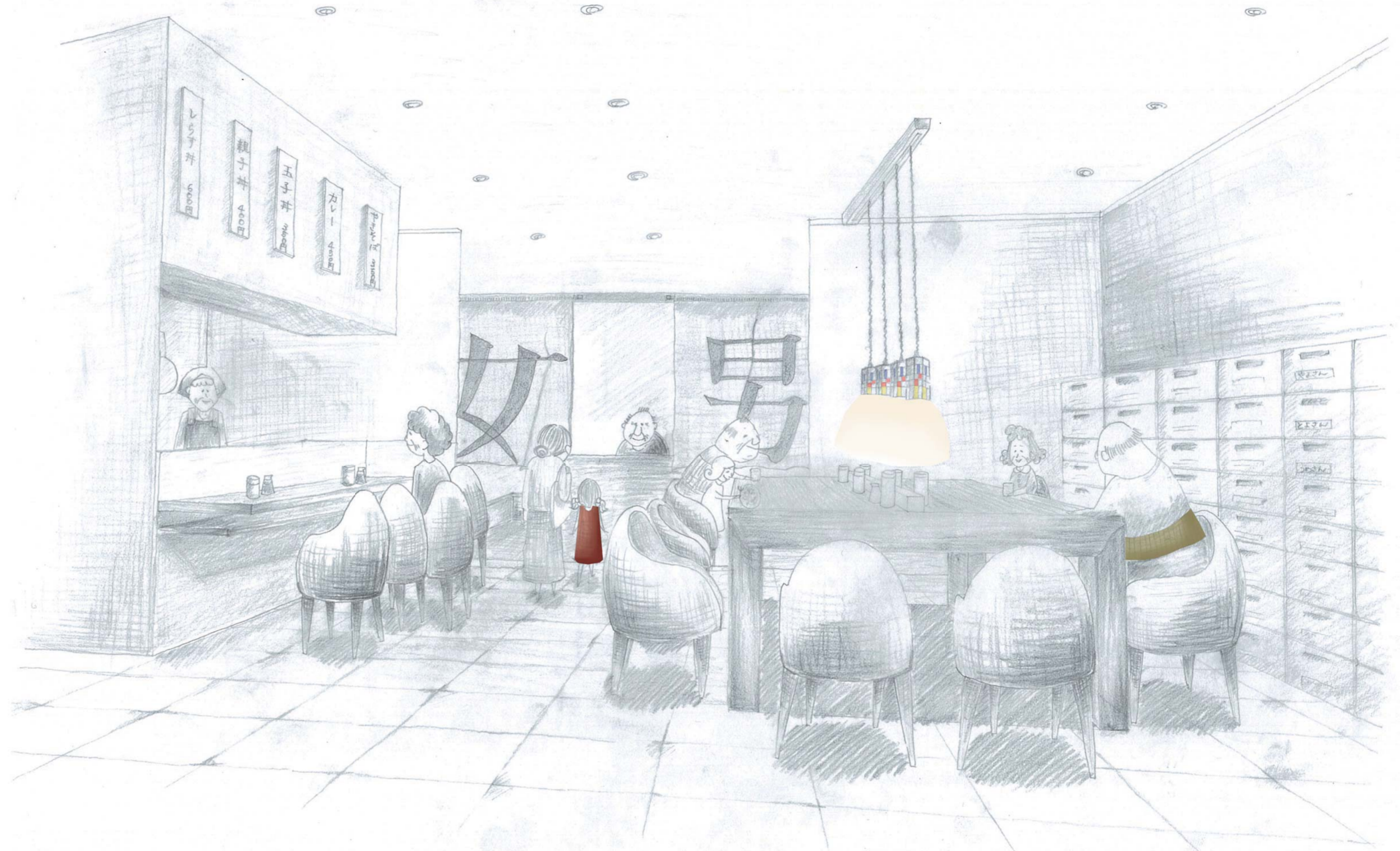
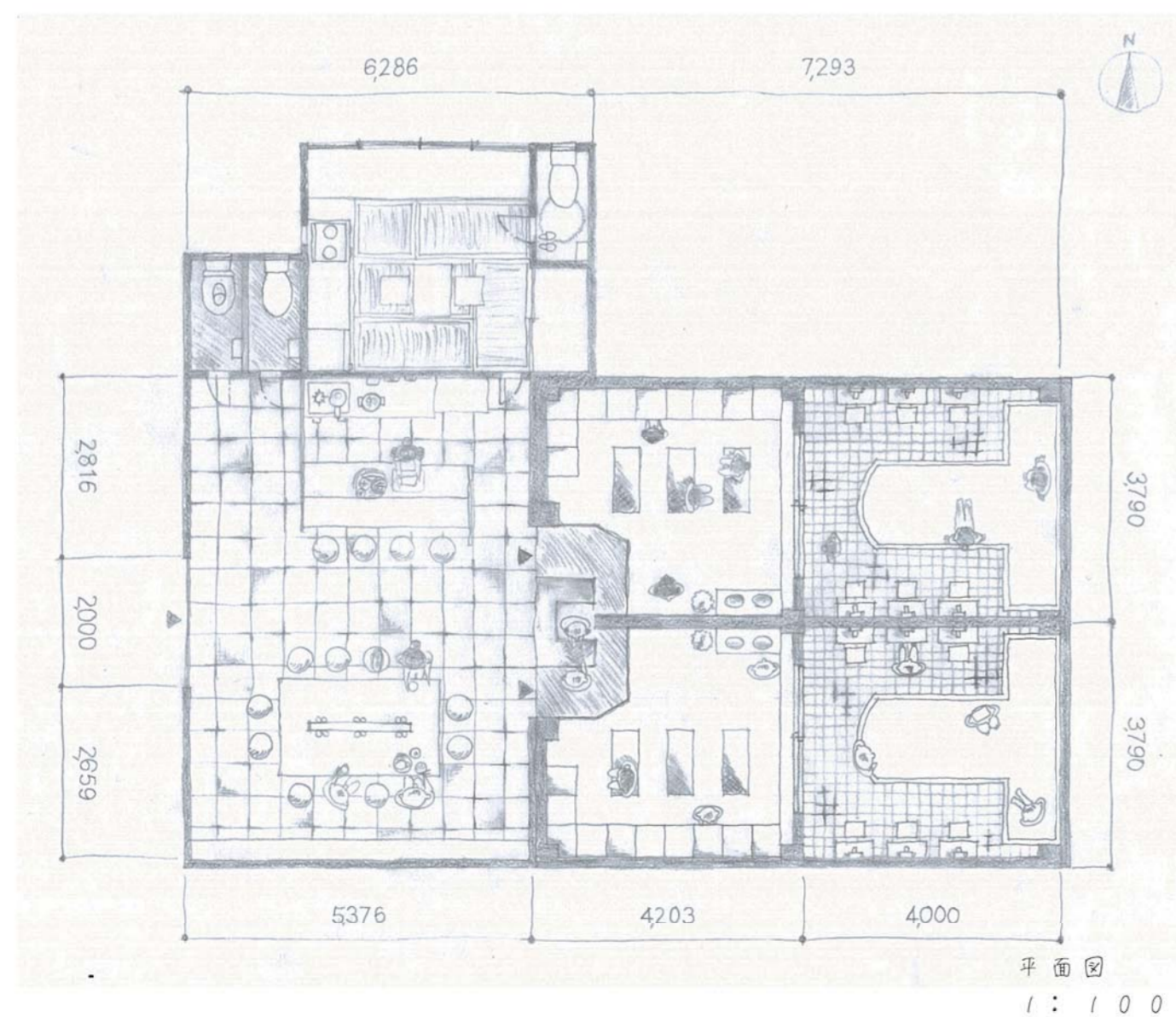


銀蔵さん(68) うめさん(65)
この銭湯の基台。 銭湯の食堂で、
島民の社交場を銭湯で 料理をみるまう。
つくりたい。

小さな離島、あかい人たちは島を出て
おじいちゃんやおばあちゃんが多い島。
一人暮らしの人も多くて少し不安。
今回のクライアントは銀蔵さんとうめさん。
二人は、昔からコミュニケーションの場だった銭湯で、
お年寄りの人たちがみんな楽しんで、お互いに見
守り合ったりできる社交場をつくりたいと思っている。



カラースキーム
山カラー 海カラー
■ ■



食堂でみんなでご飯を
食べ終わった後に飲むお薬。
忘れないようにみんなで声を
掛け合ってMYロッカーに
お薬を取りに行く。



いつも来ている人が
きていないと心配、
体調でも悪いのかな？
家の帰りに少し様子
を見に行こう。



うめさんが作るおいしい
ご飯をみんなが集まる食堂で。
広がるコミュニケーション♪



じいじとばあばのしゃべりば

いどばた湯